

Title	『三田社会学』投稿規定および執筆要項
Sub Title	
Author	
Publisher	三田社会学会
Publication year	1998
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.3 (1998. )
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-19980000-0071">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-19980000-0071</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 『三田社会学』投稿規定および執筆要項

### 投稿規定

1. 本誌に投稿する論文等は、未発表のものに限る。但し、口頭発表はこの限りでない。
2. 投稿を希望する会員は、指定された期日までに、事務局あてに査読用原稿コピー3部を送付する。
3. 原稿の執筆にあたっては、別に掲げる「執筆要項」によること。
4. 投稿原稿には、編集委員会が選定した査読者による審査が行われる。
5. 査読終了後、掲載が決定した完成原稿をフロッピーディスク（原則としてMS-DOSのテキストファイル）及びワープロ原稿で提出すること。

(1995年7月1日制定)

### 執筆要項

1. 原稿はすべてワープロ原稿による提出とし、各ページに通し番号を明記すること。
2. 原稿の分量は、以下の範囲とする（図表、注、文献リストを含む）。  
「投稿論文」：14ページ（400字原稿用紙49枚分）
3. 論文には、英文のタイトルを付けること。
4. 原稿の書式は下の原則に従うこと。
  - 1) 原稿は横書きとする。
  - 2) 原稿は、A4版の用紙を縦に使い、40字×35行を1ページとする。
  - 3) 引用文献の記載の形式は、*American Journal of Sociology*に従う。本文中には（著者名、発表年、ページ）のみ記すこと。  
なお、引用した文献等は末尾に文献リストとしてまとめること。文献リストは、著者名、発表年、論文名、書名・雑誌名、巻号、所在ページの順で記載すること。著者名のアルファベット順にならべること。和文文献については、書名・雑誌名を『 』で、論文名を「 」でくくる。また、欧文文献については、欧文書名・雑誌名をイタリック体（またはアンダーライン）で表示し、欧文論文名を“ ”（クォーテーション・マーク）でくくる。
  - 4) 注は本文中に1)のように番号を入れ、文献リストの前にまとめること。
  - 5) 引用文献のみを示す注は、3)の形式により本文中に記すこと。
  - 6) 図表は、原稿中に挿入箇所を指示すること。
  - 7) 本文中の小見出しの表記は下のようによること。  
章：1. ～            2. ～            3. ～  
節：(1) ～            (2) ～            (3) ～  
項：1) ～            2) ～            3) ～
  - 8) 英数字は、原則として半角とする。
5. 原稿は、表題、英文タイトル、本文、注、文献リストの順で構成すること。要約は不要。
6. 図表は、完全版下を提出すること。本文とは別に印刷し、本文末にまとめる。本文中に挿入箇所を明示すること。
7. 投稿原稿は、本文中は執筆者名を記載せず、表題、執筆者名、所属、連絡先を明記した別紙を添えて提出すること。
8. 査読の結果、改稿、再提出を求められることがある。
9. 査読終了後の完全原稿は、フロッピーディスク（原則としてMS-DOSのテキストファイル）及びワープロ原稿で提出すること。
10. 校正については、原則として著者による責任校正を1回のみ行う。但し、この校正では誤字・脱字訂正以外は認めない。

(1995年7月1日制定)